

在東京全日本抗支總聯合會本部より十月廿
七日東京山七九麻生久、松尾駒吉、抗支側
代表の松山五十、数次折衝、二努力を以て、今日
世日談問題解決の途を以て、今日尾川辰俊、教
場ニ於テ講演會ヲ開キ、常資問題ニ関シ、演
説ヲ試シ、其後麻生、松山所屬尾川辰俊、阿部
波依我、五国寺各、松山ニ於テ、今日本、松支總
聯合會各支部、答會式ニ臨ミ、講演ニ十二月二日
帰京ニ夕リ

(石川 耀)

三、労働団体、教育並ニ宣傳運動

(一) 王子河ニ於ケル労働問題演説會

十一月二十二日府下王子河大松亭ニ於テ大日本
工友會會長横田多門、主催、首題演説會、兩催、
聴衆約二百名(全部組合工、職工)川島北斗、開
會ヲ宣シ、演説ニ移リタルカ、辯士渡辺善次、片岡
厚次、前川亨、吉沢七九、長島隆次、及竹内某、
所論ハ就レモ不穩ニ亘ルモノアリ、臨場警察、察言
之レカ中止ヲ命ジタルニ、聴衆喧嘩、甚ダ極メ、廢止
スル所、ナキヲ以テ、遂ニ解散ヲ命ジタリ、其際狂暴
ノ舉、動ニ出テタル三名ヲ、横束セリ(当日朗談セル